

～年金とは何ぞや！？～ 年金制度の基礎知識をつける！

- ❁ 1. 年金の歴史の変遷
- ❁ 2. 諸外国の年金制度
- ❁ 3. 主たる事件について
- ❁ 4. 最近の傾向
- ❁ 5. 年金問題を解決するには

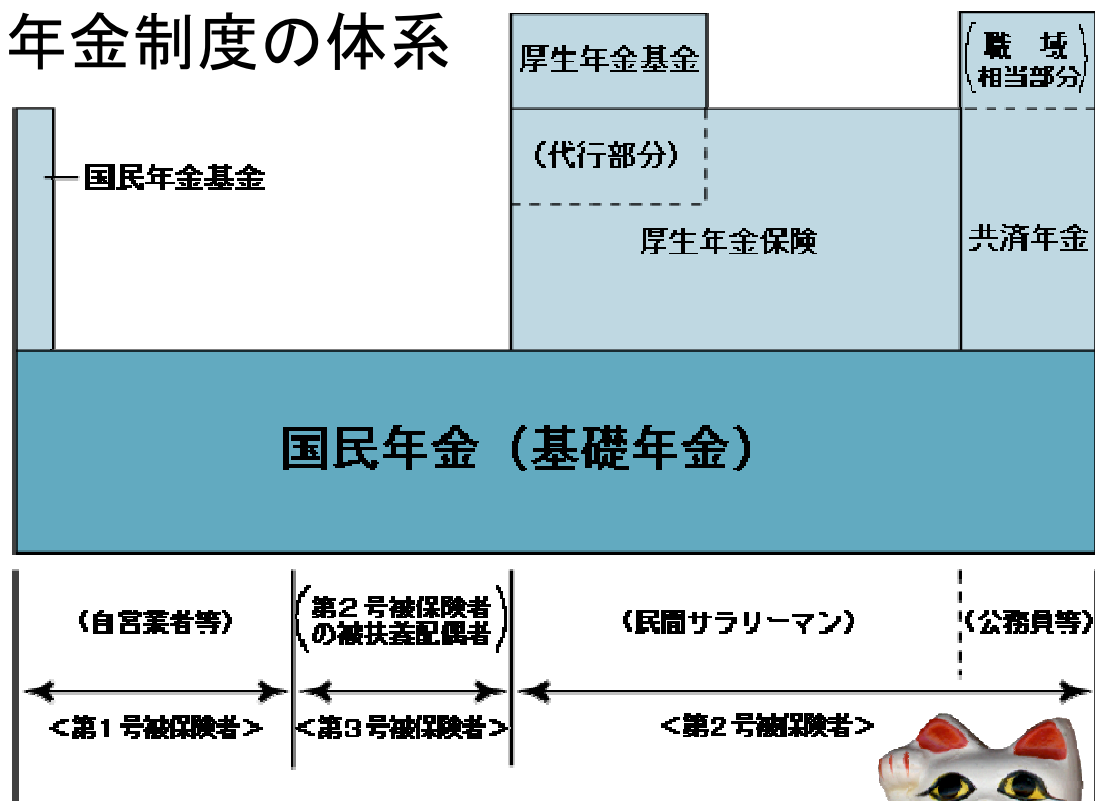
presented by THE☆年金



日本の年金制度の体系

公的年金制度の体系

- 第一号被保険者
…自営業者など
- 第二号被保険者
…サラリーマン・OL
- 第三号被保険者
…二号被保険者の
被扶養配偶者



一階の国民年金と二階の厚生年金で成り立っている



年金制度の歴史

年金はどのように今日の姿になったのか！

- 1939年** 船員保険施行。
- 1941年** 労働者年金制度により、男性工場労働者を対象として施行。
- 1944年** 女性及び事務職員を対象として、厚生年金制度に改正。
- 1959年** 自営業者や零細企業労働者を対象に、国民年金保険成立。
- 1961年** 全ての国民が何らかの年金制度に加入する、国民皆年金が成立。
- 1994年** 急激な高齢化に伴い、年金のスライドを名目賃金(税込み賃金)から、ネット所得スライド方式(手取り賃金)へ切り替えた。
- 1999年** **56歳**以降の賃金スライドの凍結。老齢厚生年金の支給開始年齢の引き上げ等年金改革が行われた。



現状と問題点

高齢化と経済変動が年金に ダメージを！！

景気後退、高い失業率、賃金カット、
積立金の運用赤字による収入減、急激な高齢化



給付が増加し、年金財政が危機に！
実際の厚生年金の財政収支は、マイナス**7,000**億円
になり、制度発足以来初めての**赤字**となる。



諸外国の年金制度について

積み立て方式・・・マレーシア、チリ、シンガポールなどの一部の国

賦課方式・・・日本を含めた主な先進諸国

先進国では全体的に高齡化、少子化が進んでいる。賦課方式であるため、年金財政が悪化...
改革を行うことが早急に求められている！！



アメリカの年金制度

❁ 公的年金制度・・・大部分は連邦社会年金制
(**OASDI**)から成り立つ

☆ 被用者、自営業者は**OASDI**に強制加入

☆ 財源・・・事業者、従業員、自営業者が納める

社会保障税

❁ 積立金の引き上げ、運用の強化、年金を課税対象とする改革案があるが前に進まず



イギリスの年金制度

- ❁ 一階が基礎年金と2階が報酬比例年金となっており、日本の構造とよく似ている

☆被用者は両方に、自営業者は基礎年金に強制加入

☆保険料率・・・被用者：21.8%

☆支給開始年齢・・・男子：65歳 女子：60歳

- ❁ 近年に改革として企業年金と個人年金の利点を兼ね備えた**ステークホルダー年金**が導入されている



スウェーデンの年金制度

- ❁ 1999年に年金制度の大幅な改革！！
- ❁ 公的年金を**所得比例年金**とし、一定以下の人には**最低保障年金**を設ける
- ❁ 賦課方式の財政でも安定するよう**自動調節機能**の仕組みも導入
- ❁ 年金保険料は**個人勘定**で管理
 - ☆ 保険料率18, 5% (16%が賦課方式、2, 5%が積み立て方式として運用)
 - ☆ 支給年齢・・・65歳以降本人が選択



主たる事件～事例1～

❁ 8人財産差し押さえ(福井県)

- ・福井県社会保険事務局が、国民年金の長期未納者8人の財産を差し押さえた
- ・対象となったのは、保険料の支払い能力がありながら、2年以上滞納(約32万円)を続けていたケース



主たる事件～事例2～

❁ 江角さん年金情報、25人が閲覧

- ・ 社会保険庁職員25人が国民年金のPR役だった女優の江角マキコさんの年金情報を業務外で閲覧
- ・ 江角さんがPR役に選ばれた03年6月中旬から国民年金の未加入が発覚した04年3月までの間に14都道府県で



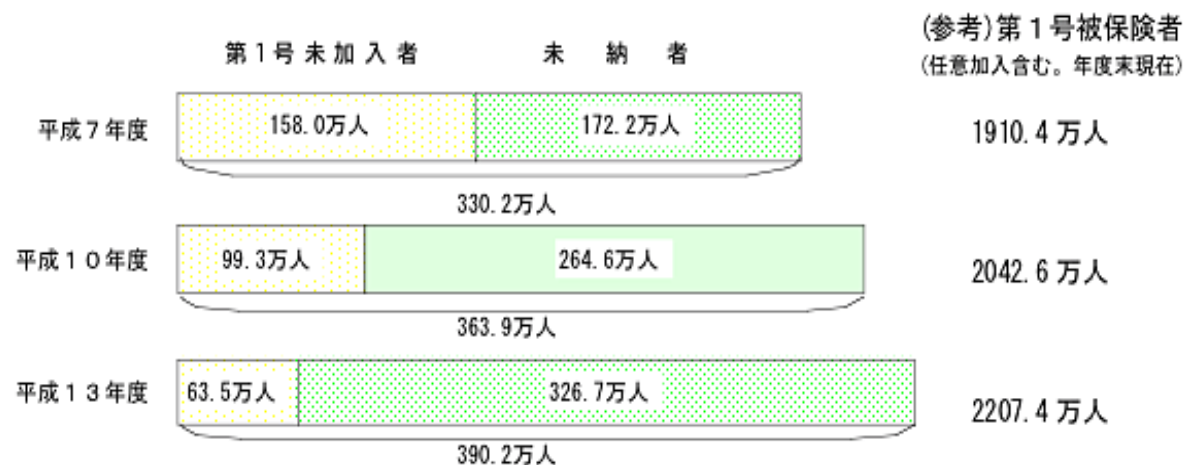
未納者数と未加入者数の推移

❁ 未納者の割合が増える傾向

理由：「保険料が高く経済的に支払うのが困難」→6割

「国民年金をあてにしない、あてにできない」→1割強

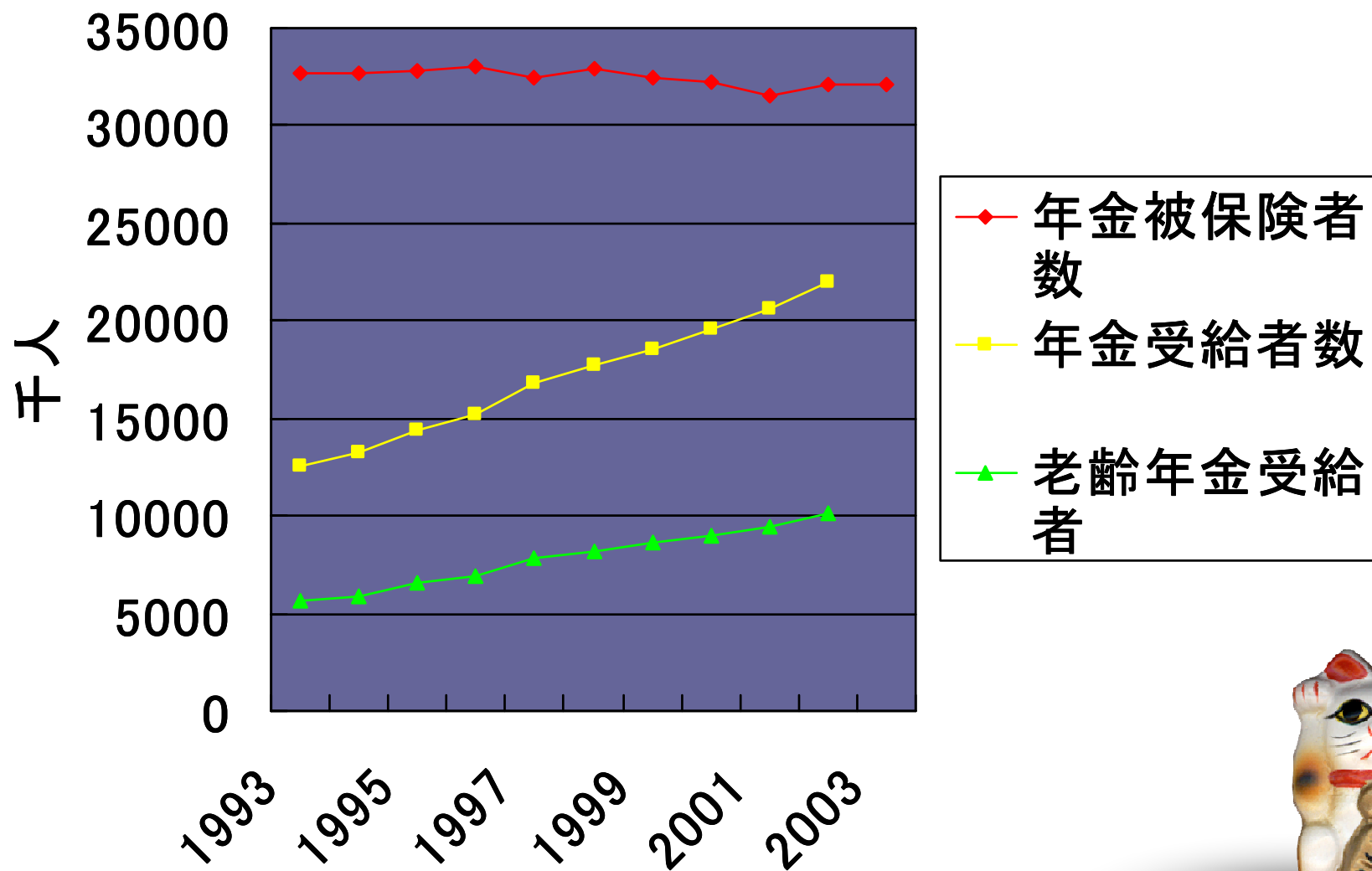
未納者・未加入者の推移



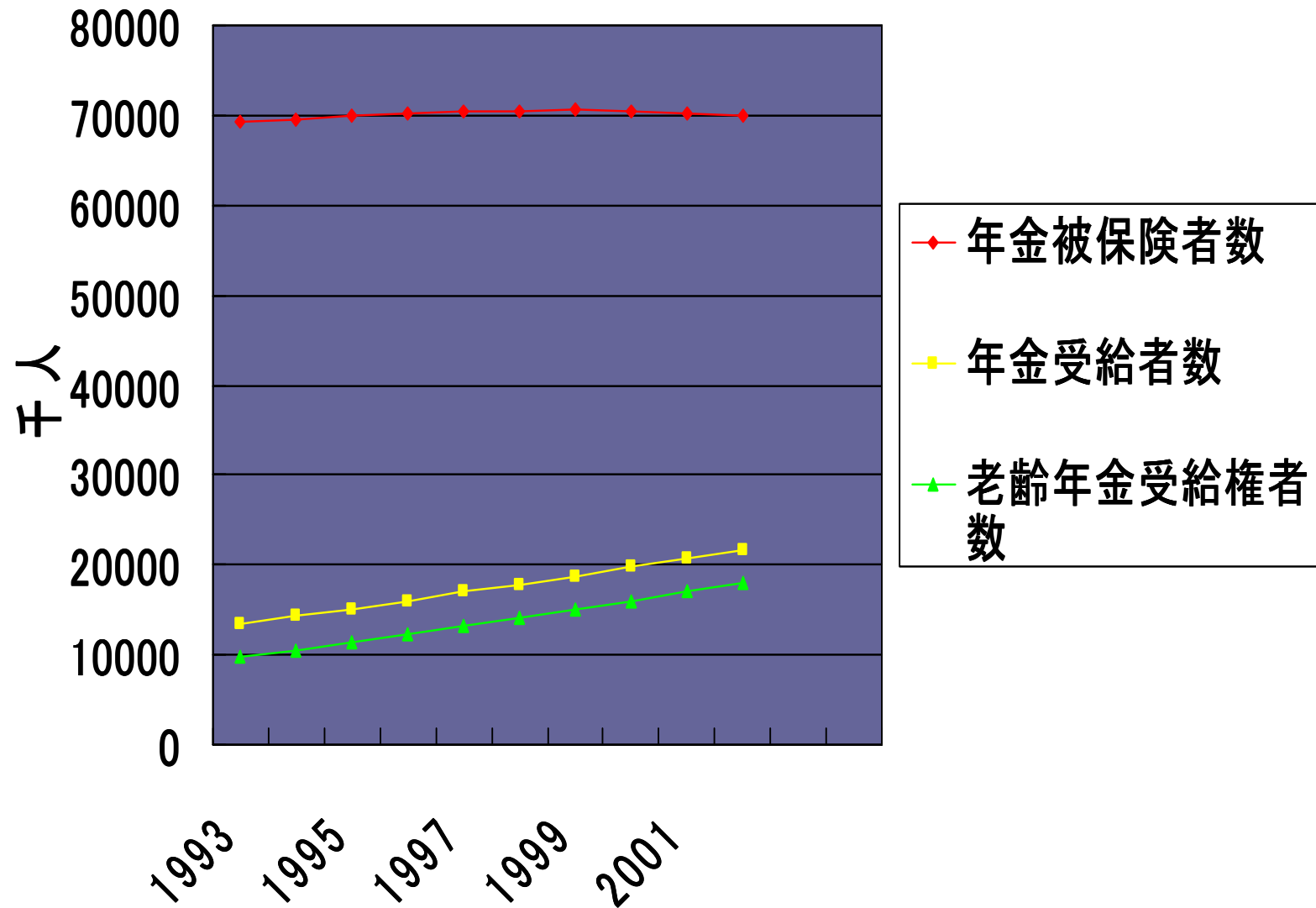
出所：平成14年度国民年金被保険者実態調査



最近の傾向 ~厚生年金~



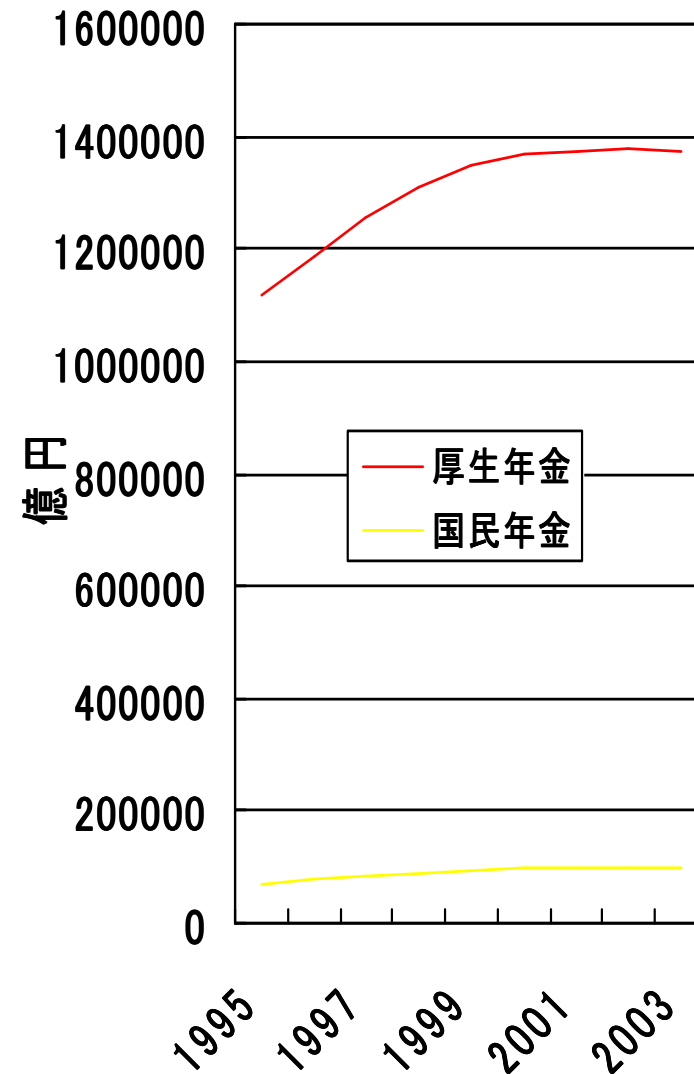
国民年金



収支差引残 (単位: 億円)

年	厚生	国民
95	72793	6813
96	66468	9488
97	72981	6190
98	50886	4936
99	39542	4998
00	20817	3591
01	5130	1282
02	3089	△382
03	△3312	△497

年度末積立金の推移



年金問題解決の糸口...

❁ 急激な高齢化と少子化→賦課方式では年金財政をまかなうことが不可能に

- 解決1. 働き手を増やす(外国人労働者の認可や更なる女性労働者の支援、退職者の働き支援)
2. 賦課方式から積み立て方式への移行
(スウェーデンの改革を参考に)
3. 国民が責任を持って将来設計をたてることの重要性(貯蓄や私的年金など)

